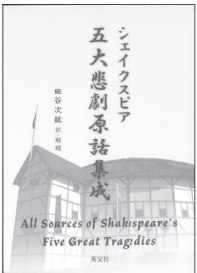


日本英文学会第97回全国大会

東京大学本郷キャンパス
5/31(土)・6/1(日)

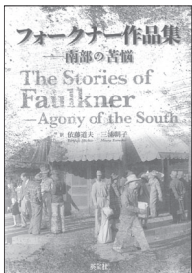
シェイクスピア 五大悲劇原話集成



A5判・632頁・7700円
熊谷次紙訳・解説 ロミオとジュリエット、ハムレット、オセロ、リア王、マクベスの主要原話、材源をすべて網羅して訳出収録。

英宝社

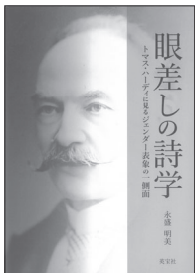
フォークナー作品集 南部の苦悩



四六判・340頁・2750円
依藤道夫・三浦朝子訳 南部色豊かな作品を厳選し、暴力や人種差別など重いテーマを通して人間の真実と普遍的な光を探索する珠玉の作品群。

英宝社

眼差しの詩学 トマス・ハーディに見る ジェンダー表象の側面



A5判・226頁・3300円
永盛明美著 詩と後期小説を分析し、男性作家の「眼差し」を通して女性像と性のイデオロギー、内面的葛藤を読み解く。

英宝社

バイロン事典



A5判・528頁・5500円
日本バイロン協会編著・編集主幹田吹長彦 初期の構想より10年余の歳月を費やして刊行する18名の執筆者を擁した本格的辞典。カラー図版32頁。

音羽書房鶴見書店

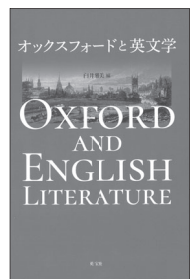
ジェンダーロールの 呪縛と越境



四六判・168頁・2200円
竹山友子・前原澄子・齊藤美和・西垣佐理・中川千帆著 初期近代から20世紀の文学作品を通して、性規範に縛られる姿とそれに抗う試みを多角的に考察。

英宝社

オックスフォードと英文学



四六判・236頁・3740円
臼井雅美編 オックスフォードが生んだ作家たちに光を当て、文学と社会の関係性を描きながら、時代と共に変容する文学的営みの本質に迫る。

英宝社

ウォルター・ペイターを読む 一科学、錬金術、スピリトゥス



四六判・570頁・4950円
森岡伸著 世紀末の混迷の時代を生きた批評家ウォルター・ペイターの精神の基層に分け入り、そのヴィジョンを支配した科学と夢想の射程を問う。

開文社出版

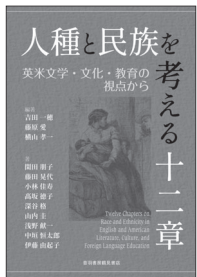
炎の作家シャーロット・ブロンテ 秘めた愛の自叙伝



A5判・536頁・5500円
山田豊著 ブロンテ3姉妹の長姉シャーロットの秘めた愛の伝記的事実を書簡を中心に検証しつつ、長編4部作を綿密に読み、創作のエネルギーの源を考察。

音羽書房鶴見書店

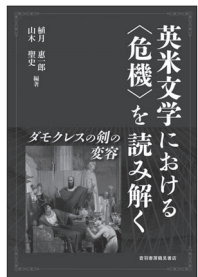
人種と民族を考える十二章 英米文学・文化・教育の視点から



A5判・292頁・3850円
吉田一穂・藤原愛・横山孝一編著 英米文学・文化・教育の視点から人種・民族を12人が論じる。多文化主義や共生を考えるきっかけとなることを意図した。

音羽書房鶴見書店

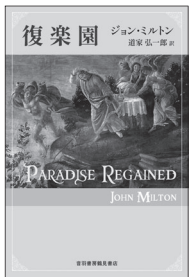
英米文学における 〈危機〉を読み解く タモクレスの剣の変容



A5判・400頁・4620円
植木恵一郎・山本聖史編著 17人の筆者が、感染症、戦争、環境、ジェンダー、宗教など、「危機」をテーマとした、あるいは関連した英米文学作品を論じる。

音羽書房鶴見書店

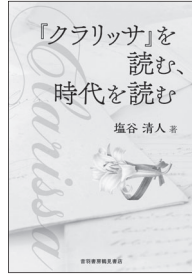
復楽園



四六判・168頁・2420円
ジョン・ミルトン作／道家弘一郎訳 『失楽園』の続編たる叙事詩を詳注とともに新訳で刊行。失われた楽園が、イエスにより取り戻される様を歌いあげる。

音羽書房鶴見書店

『クラリッサ』を読む、 時代を読む



四六判・240頁・2750円
塩谷清人著 英国の作家サミュエル・リチャードソン(1689-1761)が著した、『パミラ』と並ぶ代表作の長編書簡体小説『クラリッサ』の魅力を伝える評論。

音羽書房鶴見書店

『ジェイン・エア』、『ヴィレット』、 『北と南』におけるモビリティ、 モダニティと空間



A5判・203頁・2750円
石井麻璃絵著 本書は、19世紀イギリスのミドルクラスの女性がいかに移動性を発揮し、空間とアイデンティティを確立していくかを考察したものである。

金星堂

愛と笑いと革命の『ユリシーズ』



B6判・200頁・2750円
新名桂子・若下いずみ・田中恵理編著 『ユリシーズ』の一体何がすごいのか——この問いを、「愛」と「笑い」と「革命」をキーワードに考察する。

金星堂

領域のかたに 横断する言語表象と再生をめぐる



A5判・261頁・3080円
片平会編 個々の学術領域を越えて「領域のかたに」の知見の追求を目的とした、言語学、言語教育、文学（文化）批評の専門家たちによる論議。

金星堂

【増補版】 感情のカルチュラル・スタディーズ ー「スクリュティニ」の時代から ニュー・レフト運動へ



四六判・360頁・2420円
山田雄三著 レイモンド・ウィリアムズの「感情構造」概念の紹介・解説から、未だに色褪せないこの概念の優れた案内書として、新たな息を吹き込む。

開文社出版

白鳥と鏡 ーイェイツと浮世絵、能楽、俳句



四六判・168頁・3300円
伊東裕起著 アイルランド作家イェイツは、どのように能楽や俳句、浮世絵等の日本文化と向き合ったのか。思想の深層や思索を深める過程に迫る。

開文社出版

スペンサー・ハンドブック ー詩人と作品ガイド



A5判・178頁・2420円
日本スペンサー協会編 16世紀英国の詩人エドマンド・スペンサーの生涯と作品を解説した手引き書。より深く学びたい人のための必読書案内付き！

開文社出版

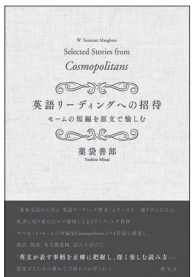
ライオンの場所



四六変型判・316頁・3080円
チャールズ・ウィリアムズ著／横山茂雄訳 異形の〈天使〉たちが降臨し平穏な田舎町を恐怖と混沌が襲う——希代の幻視者による幻想小説の傑作。

国書刊行会

英語リーディングへの招待 モームの短編を原文で愉しむ



A5判・236頁＋別冊60頁・2530円
葉袋善郎（著） モームの『コスモポリタンス』より4作品を収録。和訳・英文構造図・丁寧な解説付き。英文を深く味わう読み方を実感できる。

研究社

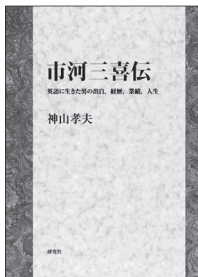
スローでディープな英文精読 〈ことば〉を極限まで読み解く



A5判・234頁＋別冊24頁・2420円
今井亮一・平沢慎也（編・訳・解説）言語学と文学の専門家による、注釈も斬新な読解テキスト。英文を余すところなく読み解き味わうことができる。

研究社

市河三喜伝 英語に生きた男の 出自、経歴、業績、人生



A5判・514頁・14300円
神山孝夫（著） 一生を日本の英語英文学研究の発展に捧げたのが国英語学の祖、市河三喜の初の本格的伝記。現存資料を網羅的に精査。図版多数。

研究社

イギリス世紀末文学の詩学 ウォルター・ペイターと オスカー・ワイルド



四六判・457頁・4400円
玉井暁著 ペイターとワイルドを中心に、イギリス世紀末文学の言説空間の特質をテキスト構造と言語意識に注視して解明。その今日的意味を探る。

金星堂

アメリカ映画とエスニシティ だから映画はおもしろい



新書判・370頁・1980円
君塚淳一・馬場聡・河内裕二編著 39本のアメリカ映画を中心に、関連する作品も多数紹介。映画を通して「アメリカ」を理解するためのガイドブック。

金星堂

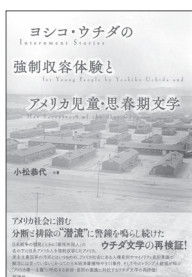
影の帰還



四六判・464頁・3850円
山岸邦夫著／上岡伸雄訳 不当な日系カナダ人強制収容により、「影」として日本に帰国せざるをえなかった一日本人の心理的葛藤を描く歴史小説。

彩流社

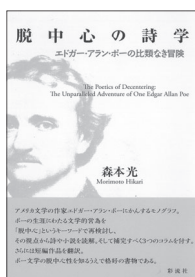
ヨシコ・ウチダの強制収容体験と アメリカ児童・思春期文学



A5判・214頁・2970円
小松恭代著 日系アメリカ人作家ヨシコ・ウチダの人生に大きな影響を与えた「強制収容」体験と彼女の作品、同時代文学作品への影響を考察する。

彩流社

脱中心の詩学 エドガー・アラン・ポーの比類なき冒険



四六判・268頁・3300円
森本光著 「脱中心」のキーワードで読み解くポー作品批評集。本論を補完すべく3つのコラム、「構図形の肖像」ほか短編4編の翻訳を付す。

彩流社

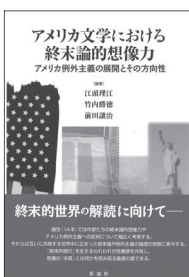
アメリカ文学にみる 女性冒険者たち



四六判・300頁・3300円
野口啓子監修／池野みさお・山口ヨシ子編著 伝統的に男性のものとしてきた「冒険」をテーマに、アメリカ女性作家13名の作品を読み直す。

彩流社

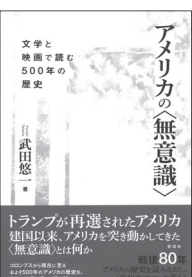
アメリカ文学における 終末論的想像力 アメリカ例外主義の展開とその方向性



A5判・360頁・4400円
江頭理江・竹内勝徳・前田謙治編著 米国が体験してきた不安や恐怖、それらを克服する過程を作家はいかに描いたのか、米国例外主義への批判を考察。

彩流社

アメリカの〈無意識〉 文学と映画で読む500年の歴史



四六判・504頁・3960円
武田悠一著 建国以来、アメリカを突き動かしてきた〈無意識〉とは何か。現在までおよそ500年のアメリカの歴史を、文学と映画を通して読み解く。

彩流社

特集 英米文学／研究書のススメ

二〇二五年五月三十一日（土）六月一日（日） 日本英文学会第97回全国大会が開催されるこの全国大会開催を機に「英米文学／研究書のススメ」と題し、各社お属の書籍を紹介し、また特別講演に登場される高山宏氏に本大会のメッセージを、シンポジウム「研究発表に参加する若手研究者には自身の研究テーマに関するエッセイを寄せてもらった。」（編集部）